

第5回 岩見沢市福祉施策検討委員会の概要

第5回 岩見沢市福祉施策検討委員会

日時：平成29年11月20日（月）10時～10時45分

場所：岩見沢市役所 3階 第1会議室

出席者： 森本委員、堀委員、石垣委員、山本委員、梅田委員、鎌田委員、中村委員、東海林委員、齋藤委員、高柳委員、中田委員、新川委員、鳴海委員

欠席者： なし

事務局： 石崎健康福祉部長、出口健康福祉推進担当次長、瀬野福祉課長、堀内高齢介護課長、永井健康づくり推進課長、竹村国保医療助成課長、青山福祉課主幹、吉成高齢介護課主幹、下田北村支所市民福祉課長、野々村栗沢支所市民福祉課長、小笠原総務グループ担当主査、山田障がい者福祉グループ担当主査、鈴木高齢者支援グループ担当主査

1 開会

2 委員長挨拶（要旨）

過去4回の活発なご討議により答申案を取りまとめることができたことに厚くお礼を申し上げますとともに、お届けした答申案を皆様の声をしっかりと反映した答申にするために、更にお力添えをいただきたい。

3 議事（1）答申（案）について

【委員長】

これから答申案をご検討いただくが、文言や表現、内容の検討に入る前に、この案には、我々が議論した10本の事業全てが記載されているが、正式な答申にもこの10本の事業全てを記載するかどうかについてご意見をいただきたい。

・意見等

発言者	意見等要旨
委員長	この中には、必要性が乏しくなった事業、公平性を欠く事業を見直して、廃止または縮小を提言するという趣旨には当てはまらない事業もある。それらを含めて答申することによって、本当に必要な意見が薄まってしまわないか。本当に必要な事業に絞って答申をすることも一つの方法ではないか。 逆に、これは充実してほしいと話合った内容も私たちの想いとして記載すべきとも考えられる。その辺を少し整理してから内容の検討に入りたいのでご意見をいただきたい。
委員	話題が出て皆で検討したのだからこのままでいいという意見と、改善や廃止など強い意見を答申にした方がいいという2つに分かれると思うが、仮に記載する事業を3つ4つに絞ったとしたら、この委員会5回にわたってその4点しか議論しなかったように受け止められる可能性もある。 事業を絞るならば、他にこういう話題や意見もあったということを、付属資料のような形で添付することで、委員会の役割をお知らせできるのではないか。

発言者	意見等要旨
委員長	今ご提案いただいたが、特に絞るべきというご意見がなければここまでの討議をまとめていただいたものなので、このまま答申とするということによろしいか。 (異議なし)

【委員長】

続いて、先に送付されていた答申（案）をご覧いただいたと思うが、文言や表現についてご指摘があれば、まず前文についてご意見等いただきたい。

・意見等

発言者	意見等要旨
委員	3行目に「住民の生活を支える福祉サービス」とあるが、このような趣旨の文章では「住民」という言葉は使わない方がいい。「市民」ではないか。その後「市民の多様なニーズに対し」と出てくる。住民と市民はどう違うのかということになるので、「市民」とした方がいい。 最後の2行、「生まれた財源を真に必要とされる事業に振り向けるなど～」とあるが、前段で財政が厳しくなっていることに触れているので、今やろうとしている事業に十分な財源がないから補うようなニュアンスに受け止められる。廃止を含めて検討した結果、真に必要とされる事業というのは、既存のものだけでなく、時代の推移と共に新たに取り組まなければならない施策もあるのではないかと。そこに言及しておいた方がいいと思う。そこに目を向けて大胆な取り組みをとというニュアンスを加えた方がいいのではないかと。
委員長	「住民」と「市民」という文言についてはその通り。 生まれた財源は既存の事業の足りない所に振り向けるだけでなく、新しい事業、前向きな事業に振り向ける様な表現に、ということについていかがか。
委員	答申が公表されると、福祉の施策を後退させる意見を出したのかと取られかねない。新たな施策についての具体的な議論はしていないので、そこを期待してもらえるような表現がないものか。 やむなく廃止するべきという答申を出すのだから、そこで生まれた財源をどうするかという所で前向きな表現が前段にあると少し救われる気がする。
委員長	表現をもう少し工夫して一部修正するということによろしいか。(異議なし)

【委員長】

各事業に入る。1.高齢者バス無料乗車券等交付事業について、表現などいかがか。

(意見なし)

2.身体障害者年金支給事業についてはいかがか。

(意見なし)

3.長寿祝金支給事業についてはいかがか。

(意見なし)

4.ひとり親家庭児童就学援助金事業についてはいかがか。

(意見なし)

- 5.老人クラブ活動運営事業についてはいかがか。
(意見なし)
- 6.地域除排雪活動支援事業についてはいかがか。
(意見なし)
- 7.福祉タクシー利用料金助成事業についてはいかがか。
(意見なし)
- 8.緊急通報装置等運営事業についてはいかがか。

・意見等

発言者	意見等要旨
事務局	皆様に答申案をお送りした後、更に検討したところ、冒頭の「消防署につながるという心理的安心感」という表現について、現状のシステムは消防署に直接つながるが、議論いただいた民間の事業者が行う緊急通報のシステムについては、まずそれぞれの事業者につながるので、直接消防署につながるわけではない。そこを誤解されてはいけけないので、「ボタンを押すだけで誰でも操作が簡単な」という点を加えて、「消防署」という言葉に固執しない表現を使わせていただきたい。
委員長	システムについてよく知らない方が読んでも誤解を受けないような表現に改めたいとのこと。
委員	設備の維持について、経費がかかるという事が印象に残っている。老朽化で設備の更新をするために一人当たり多額の経費がかかると、そのサービスを受ける方が制限されると思うし、設置された時代から相当経っていて、合理性を求める時代になっていると思うので、そのあたりを盛り込めないかと感じた。
委員長	方向性としては、公的資金で行うようなシステムについては整理していくということでしょうか。
委員	自分で 119 番通報する、民間の事業者のサービスを受けることでステップアップしたい、本当に困った人は直接通報できるように、という 3 つの方法が理解された上で本人の希望に行政がどう対応するかだと思うので、今事務局から説明があった趣旨が届けば、基本は変わる必要はないかと思う。
委員長	事務局でまとめていただくということによろしいか（異議なし）

【委員長】

- 続いて、9.健康ポイント事業について表現等はいかがか。
(意見なし)
- 10.保育所入所運営事業・幼稚園入所運営事業についてはいかがか。
(意見なし)
- これら 10 の事業を振り返って、言い忘れたことなどあれば伺いたい。

・意見等

発言者	意見等要旨
委員	3.長寿祝金支給事業について、2 ページ目の最後の行だが、「～その上で、長寿を祝福し、敬老の意を表する財政負担の少ない事業の立ち上げを」という表現だが、お金がかかり過ぎたからということに焦点が行き過ぎていないか。 平均寿命や 99 歳、100 歳を限定的にお祝いしてはという様々な意見があったことを踏まえると、「今の社会背景から考えて長寿を祝い、敬老の意を表するのによりふさわしい事業に整理していく」という趣旨の表現の方がいいと思う。

【委員長】

最後の文章についてはいかがか。

・意見等

発言者	意見等要旨
委員	中ほどの行で、「今後においても財政健全化の観点、事業の公平性・妥当性・適合性の観点などから～」と表現されているが、「財政の健全化」という文言は、この委員会の趣旨として、福祉施策について見直し、あり方等を検討するという目的からすると、後段に寄せてもいいのではないかと感じた。

【委員長】

その他全体を通して気になるころがあれば伺いたい。

・意見等

発言者	意見等要旨
事務局	4.ひとり親家庭児童就学援助金事業について、この事業そのものだけでいうと、このような表現に留めさせていただいたが、この委員会で大変熱心にご議論いただいた事業で、もう少し充実するべきだというご意見もあったかと思う。福祉施策に限らず、奨学金など、他の事業で充実する部分はまだあるのではないかと議論もあるので、「さらに他の支援策の充実も含めて研究、検討されたい」といった追記をさせていただきたい。
委員長	この事業に限らず、関連した事業も含めて更に充実を目指していただきたい、という表現にしたいとのことだがよろしいか。（異議なし）

【委員長】

ご指摘をいただいた部分について確認させていただきたい。

- ・前文では、「住民」という言葉を修正する。また、今後の取組みの部分は、不足を補うだけでなく、積極的な方向に活かしていくという趣旨の文言を含めた表現にする。
- ・3.長寿祝金支給事業について、「財政負担の少ない事業」を、「敬老の意を表するのによりふさわしい事業」というような表現に改める。
- ・4.ひとり親家庭児童就学援助金事業について、事務局として「この事業だけでなく関連する事業も含めて充実をめざしていただきたい」という表現に改めたい。

- ・ 8.緊急通報装置等運営事業について、事務局からは「消防署につながる」という文言を誤解の受けない表現に修正したい。また、いくつかの方法を含めて事業の検討をしてほしいという表現にすると趣旨が伝わるのではないか。
- ・ 最後のまとめの文章の中では、「財政健全化の観点」という文言は前面に出るのではなく、あくまでも福祉という観点から検討してきた中の一つに財政の健全化があるという形で表現を工夫してほしい。

このようなご指摘でよろしいか。（異議なし）

ご指摘いただいた点については、時間をいただいて、修正した答申については改めて集まる機会は持てないと思うので、委員の皆様にお届けし、ご確認いただく。まだ不十分な点があれば、事務局にご意見をいただき、更に検討して最終の答申とするという手順でよろしいか。（異議なし）

【事務局】

答申については11月28日（火）を予定している。それまでに皆様に最終案をお届けするので、ご意見をいただきたい。

【委員長】

あまり時間がないので少し急いで作業しなければならない。そのような手順で進ませていただきたいとのことだが、ご了解いただけるか。（了解）

4 その他

【事務局】

28日午後1時半から、委員長と副委員長にお越しいただき、市長に答申書をお渡し頂く運びとなっており、その後これらについて予算化できるものはしていきたい。

【委員長】

その他、何もないければ私に任せられた内容については終わらせていただいて、事務局にお返ししたい。ありがとうございました。

【事務局】

皆様には、5回にわたる委員会で長時間ご議論を頂きありがとうございました。

皆様の真剣なご議論にただただ敬意を表する次第でございます。これまでご議論いただいた皆様のご意思、ご意見が答申にしっかり反映されるよう最後の調整をさせていただきたい。今後は、この答申を、文字だけではなくその中にある意味、心をしっかりと捉え、我々職員も一丸となって市民が安心して暮らすことのできる魅力ある岩見沢となるよう取り組んでまいりたい。長い間本当にありがとうございました。今後ともまたご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

5 閉会